

一・一八耕作権裁判を闘おう

昨年十二月二十日請求意異議裁判で、千葉地裁裁判長高瀬は強制執行を認める農地強奪判決を打ち下ろした。市東孝雄さんは「農地は絶対に死守する」と決意を明らかにした。一月二〇日から二一日決戦本部を先頭に、泊まり込みでの臨戦態勢で闘った。二月三日、南台の畑に「ただいま耕作中」「空港会社立入禁止」の立て看板を立てた。二月一六日、三里塚・木の根全国共闘は、第三土曜日の機動隊前線指揮所前の天神峰行動を闘った。

今年はいよいよ、市東さんの農地死守決戦の年だ。反対同盟は、強制収用実力阻止の臨戦態勢を堅持して、闘っている。今こそ、闘う労農水「障」学の仲間、天神峰へ結集しよう。さらにこれから東京高裁での控訴審闘争を闘うことになる。新たな執行停止の担保金と裁判費用のための四〇〇万円カンパ運動が呼びかけられている。カンパ運動と控訴審闘争へ決起しよう。

二月一八日耕作権裁判が闘われる。この裁判は、空港会社が国、県などと一緒にとなつて、三代一〇〇年にわたつて市東さんの耕作してきた農地を強奪しようとする攻撃を打ち返す裁判だ。この間、旧地主藤崎の土地買収交渉の経過などを明らかにするため、黒塗り文書の開示を求めている。南台の畑は、請求異議裁判で争っている農地が含まれている。請求異議裁判とも密接に関連している。集会・デモで千葉地裁を包囲闘争を闘おう。

機能強化策粉砕！三里塚決戦勝利へ！

二月四日、四者協議会（空港周辺九市町、国交省、空港会社）が芝山町で行われ、今年十月からA滑走路の前倒しでの深夜飛行時間一時延長が正式合意された。これは、「命より金」とばかりに、住民の反対の声を押しつぶして、住民の命と生活を破壊するものだ。そもそも空港機能強化の攻撃は、もう一つ新たな空港を建設するものであり、騒音地獄を拡大し、自然を破壊し、空港周辺の廃村化に叩き込むものだ。空港との「共存共栄」など絶対にあり得ない。地元住民の反対の声と結びつき、反対同盟の「軍事空港粉砕、農地死守」の決意を引き継ぎ闘おう。「空港絶対反対」で闘えば、必ず勝利できる。

安倍連合政府は、改憲、天皇代替わり攻撃など戦争・ファシズムに向けた攻撃を強めている。沖縄、福島など闘う全国の労農水「障」学の闘いに結びつき、反対同盟とともに、三里塚の徹底非妥協・実力闘争で安倍連合政府を打倒しよう。全国から決戦の三里塚・天神峰に集中しよう。3・31三里塚全国総決起集会へ！